

簡易熱中症指数計

TT - 545 ・ TT - 546

(置掛兼用)

(壁掛専用)

取扱説明書

保証書付





お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになられたあとも、いつでも見られるように保管してください。

もくじ

●安全上のご注意	2
●取り扱い、保管、お手入れについて	2
●各部の名称	3
●簡易熱中症指数計の見方・スタンドの使い方	4
●アフターサービスについて	5
●保証書	6
●熱中症について	8
●熱中症予防指針	9
●熱中症予防のための水分補給について	10
●温度・湿度の表示について	11
●仕様	12

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

 警告	本品は熱中症発症を完全に防止できる製品ではありません。熱中症の発症は個人差があり、環境条件、性別、年齢、生活活動状態、健康状態により異なります。ご使用にあたっては、本品の特性をよくご理解の上、生活における熱中症の注意目安を示すものです。あくまで目安としてお使いください。また、本品は室内に限定して、ご使用ください。熱中症の注意目安や精度の誤差などによる二次災害については、弊社では一切その責任は負えませんのでご了承ください。		
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険または物的損害が発生する危険が想定される」内容です。		
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。
お願い	製品を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。		
お知らせ	製品の使用点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。		

取り扱い、保管、お手入れについて

お願い

■取り扱いについて



注意

- 倒したり、高いところから落とさない →製品が割れたりして破片などで怪我をする恐れがあります。また、平らな安定した場所においてください。
- 壁などに設置する場合は、落ちないように、市販されている釘などの掛器具を使い、しっかりと固定してください。
- ホコリや水分が付くと正確な表示をしなくなる恐れがありますので、直接蒸気を当てたり、息を吹き込むことはしないでください。 →故障の原因になります。
- 分解したり改造しないでください。 →故障の原因になります。
- 温度・湿度計は箱から出して、約30分後に正しい目盛を表示します。
- 設置する場所は、直射日光やエアコン、加湿器などの送風が直接当たらない場所で、床から約1.5mの高さが適当です。

■お手入れについて

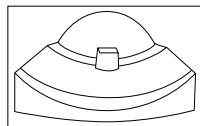
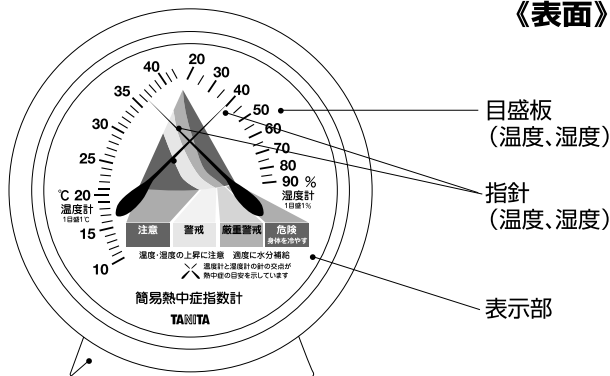


必ず守る

- アルコールや熱湯、シンナーやベンジンなどは使用しない →故障や部品の割れ・変色などのおそれがあります。本体の汚れは柔らかい布で拭いてください。

各部の名称

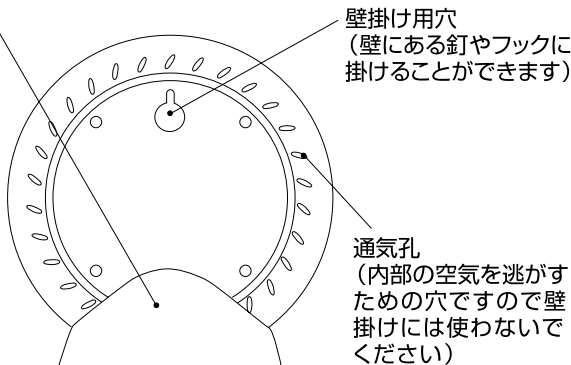
《表面》



スタンド

(取り外すことができます)
※TT-546にはついて
いません。
※使用法はP.4「スタ
ンドの使い方」を参照し
てください。

《裏面》



付属品

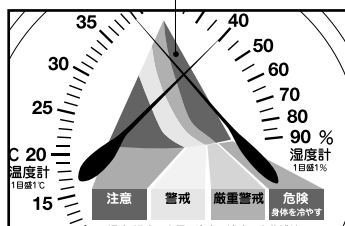
- 取扱説明書(本書)
- スタンド(TT-545のみに付属)

簡易熱中症指数計の見かた

温度計と湿度計の針の交点が熱中症の注意目安を示しています。
注意目安を下記の4段階で色分けしています。

注 意	緑色のエリア
警 戒	黄色のエリア
嚴重警戒	橙色 (オレンジ色) のエリア
危 険	赤色のエリア

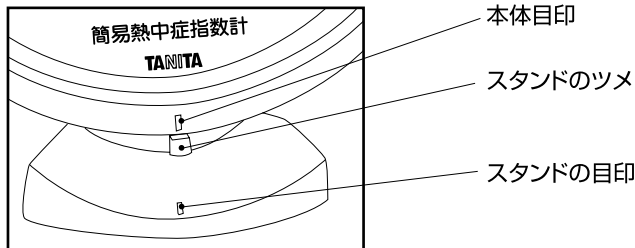
例) 危険 (赤色のエリア)



スタンドの使い方 (TT-545のみ)

※TT-546にはスタンドは付いていません。

本体下側にある目印をスタンドの目印に合わせて本体をスタンドのツメにはめてください。



注意) 平らな安定したところに置いてご使用ください。

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、取扱説明書に付いておりますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2、修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、保証書を添えて本機をお送りください。
- 保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点はお客様サービス相談室にお問い合わせください。

©2011 TANITA Corporation. All Rights Reserved.

株式会社 **TANITA**

本社・東京営業所	〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2	☎ 03(3558)8111(代表)
大阪営業所	〒577-0013 東大阪市長田中1-3-15	☎ 06(6784)2811(代表)
名古屋営業所	〒465-0072 名古屋市名東区牧の原2-707	☎ 052(704)2201(代表)
福岡営業所	〒812-0882 福岡市博多区麦野4-2-6	☎ 092(575)5761(代表)
北日本営業所	〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1	☎ 0187(66)2144(代表)

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリー
ダイヤル



0120-133821

受付時間 / 9:00~18:00 (土・日・祝祭日は除く)

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

〈無料修理規定〉

- 1、取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 2、保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡の上、商品と保証書をお送りください。
- 3、ご贈答品等で本保証書に必要事項が記入されていない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
- 4、保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - イ、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ、お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 二、保証書の提示がない場合
 - ホ、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 5、保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 6、保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

保証書

販売店様へ _____

ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、販売店様欄に捺印）をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ _____

本書は、無料修理規定により無料修理を行うことを約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送に使用させていただき、修理品とともにご返却致します。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、当社規定に基づき、責任を持って管理致します。

品名	簡易熱中症指数計 TT-545・TT-546		
保証期間	本体	お買い上げ日より1年	
お買い上げ日	年	年	日
販売店	住所・氏名		
	(印)		
お客様様	電話 ()		
	ご住所 [〒]		
お客様様	お名前 様		
	電話 ()		

熱中症について

熱中症が注目されています。ひとつには地球温暖化の影響で平均気温が上昇し、猛暑日や真夏日が増加しているからです。熱中症は炎天下での激しい運動や労働によって起こるだけではなく、日常生活の中で室内でも熱中症になることがあります。以下の熱中症に関する事項は、日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」からの抜粋です。

■特にこんな人は熱中症に注意

●65歳以上の人、特に75歳以上の人

汗の量、のどの渇きなど、体温調整機能が低下するため発症しやすい。

●幼児・学童

体温調節機能が未発達で、適切な水分・塩分の補給は保護者によって行われるため、保護者の対応が不適切になると発症しやすくなります。また、乳幼児の自動車内放置事故による熱中症は、保護者の不注意などから多く発症しています。停車中の自動車では、車内の温度は数分で40℃以上になることがあります。エンジンをかけ、クーラーをつけていても、何かの拍子で効かなくなることもあるので、季節にかかわらず、短時間であっても、絶対に車内に子どもだけを残さないことが大切です。

●肥満者

体温が上昇しやすい傾向にあるため発症しやすい。

●農作業、安全対策作業等で、厚着や安全服等で全身を覆う場合

●仕事や運動（スポーツ）で無理をしすぎる人、頑張りすぎる人

●発熱、下痢、二日酔い等、体調不良の場合

●基礎疾患のある人、寝たきりの人

高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など

●熱中症の発症を助長するような薬を服用している人

発汗を抑える作用のある薬（※鎮痙薬、頻尿治療薬、パーキンソン病治療薬、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調整薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬など抗コリン作用のある薬）は発汗抑制をきたす可能性があります。利尿剤は脱水をきたしやすく、興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させます。多くの抗精神病薬は体温調整中枢を抑制する可能性があります。

※医薬品添付文書に「発汗（あるいは体温調節中枢）が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」と記載のあるもの。

●急激に高温となった場合

暑さに慣れていないときは、特に注意が必要です。例えば、6月以前に気温が上がった時や、暑い地方へ旅行をする場合などは注意が必要です。

熱中症予防指針(日本生気象学会出典)

●日常生活における熱中症予防指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性 が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内 に移動する。
嚴重警戒 (28~31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇 に注意する。
警戒 (25~28℃)	中等度以上の生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に 休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働 時には発生する危険性がある。

相対湿度(%)

	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	43
39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
37	27	28	29	29	30	31	32	33	35	35	35	36	37	38	39	40	41
36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	25	25	26	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	22	24	24	25
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24

WBGT値	危険 31℃以上	嚴重警戒 28~31℃	警戒 25~28℃	注意 25℃未満
-------	-------------	----------------	--------------	-------------

熱中症予防のための水分補給について

●どんなものを飲むか。

摂取する飲料の組成としては0.1～0.2%の塩水またはナトリウム40mg～80mg/100mlのスポーツドリンクを20分～30分ごとにカップ1～2杯程度です。飲み物の温度は5℃～15℃が望ましく、冷たい方が胃から小腸への移動が早くまた、冷水による冷却効果も期待できます。

●どれくらい飲むか。

人の身体からは、発汗だけでなく、呼吸によっても意識されずに水分が蒸発します。よって、日中はコップ半分程度の水分を定期的に（1時間に1回程度）補給しましょう。のどの渇きを感じる前に水分補給を心がける習慣をつけましょう。特に高齢者はのどの渇きを感じにくくなっているため、十分注意する必要があります。

●こんなときにも忘れずに。

①睡眠時

寝ている間も呼吸や汗によって水分は失われます。就寝前と起床時にコップ1杯（約200ml）の水分補給をしましょう。

②飲酒時

アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上に水分を排泄するので、飲酒後は水分を十分補給しましょう。

③入浴時

入浴時は思ったよりもたくさん汗をかきます。入浴前後にコップ1杯（約200ml）の水分を補給しましょう。

④エアコンの部屋

エアコンを使うと室内の空気が乾燥しますので、気がつかないうちに脱水が生じます。こまめに水分補給しましょう。

温度・湿度の表示について

温度・湿度計は箱から出して、約30分後に正しい目盛を表示します。
本品は、直射日光やエアコン、加湿器などの送風が直接当たらない場所に設置してください。設置場所は床から約1.5mの高さが適当です。

●健康と快適な温度・湿度

季節	温度	湿度	快適なくらしには、快適な環境をつくることが大切です。しかし、環境は天気や地域によって異なり、省エネにも配慮する必要があります。
夏	21～25℃	55～65%	
冬	16～20℃	45～55%	

●温度について

夏

最近はルームエアコンの普及により、冷やしすぎが多いようです。内気温と外気温の差がありすぎるとクーラー病にかかりやすくなります



冬

小さなお子さんや、お年寄りでは体感温度は異なってきます。状況や、環境に応じて、こまめに温度調整をしましょう。

●湿度について

冬

湿度が低くなると…

インフルエンザウィルスなどが繁殖。



免疫力の低い赤ちゃんやお年寄りは特に注意が必要です。
部屋が乾燥しないよう心がけましょう。

低 湿度 高

夏

湿度が高くなると…

カビやダニが繁殖。



食中毒の危険性が高くなります。食品の製造年月日は常に確認しましょう。
また、風通しを良くし、除湿をしましょう。

仕様

品名	簡易熱中症指数計 TT-545 (置掛兼用)
測定方法	バイメタル式
表示方法	指針式
表示内容	温度:最小表示1℃/湿度:最小表示5%
熱中症予防指針	目盛板に注意(緑)警戒(黄)嚴重警戒(橙)危険(赤)の4段階表示 ※温度計と湿度計の針の交点が熱中症の注意目安を示しています。
測定範囲	温度:10℃~40℃/湿度:20%~90%
使用温湿度範囲	温度:10℃~40℃/湿度:20%~90%
精度	温度:10℃~40℃ ±1℃ 湿度:35%~75% ±5% それ以外±10%
製品サイズ・質量	本体:直径132×26mm 約96g スタンド:D46×W98×H47mm 約15g
主な材質	本体、スタンド:ABS樹脂 表示部(レンズ):PS
付属品	取扱説明書(保証書付き)、スタンド

品名	簡易熱中症指数計 TT-546 (壁掛専用)
測定方法	バイメタル式
表示方法	指針式
表示内容	温度:最小表示1℃/湿度:最小表示5%
熱中症予防指針	目盛板に注意(緑)警戒(黄)嚴重警戒(橙)危険(赤)の4段階表示 ※温度計と湿度計の針の交点が熱中症の注意目安を示しています。
測定範囲	温度:10℃~40℃/湿度:20%~90%
使用温湿度範囲	温度:10℃~40℃/湿度:20%~90%
精度	温度:10℃~40℃ ±1℃ 湿度:35%~75% ±5% それ以外±10%
製品サイズ・質量	本体:直径183×31mm 約185g
主な材質	本体:ABS樹脂 表示部(レンズ):PS
付属品	取扱説明書(保証書付き)